

平成28年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成27年度実績)

担当課	20社会教育課
-----	---------

Plan	◆事務事業の概要◆			会計区分	一般会計	事業通番	16861	事務事業コード	2002
事務事業名	生涯学習事業					開始年度	平成16	終了年度	未定
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律			例規等	佐渡市生涯学習推進会議規則 社会教育振興事業補助金交付要綱		
将来ビジョン	該当無し							H26:重点●政策○	－
H27教育行政方針	【社会教育の推進】 1. 豊かな情報で生涯学び続ける 市民の島							H27:重点●政策○	－
H28教育行政方針	5. 一人一人が学び続ける生涯学習の充実、6. 家庭教育・地域教育充実のための取組の推進							H28:重点●政策○	－
事業概要	○誰でも気軽に学習できる環境づくりの一環として、講師に大学教授等を招いた市民大学講座(いきいき県民カレッジ登録講座)を開催している。 ○自主講座生やサークル活動生がそれぞれの活動を発表する機会として地区開催の芸能祭とは別に『生涯学習フェスティバル』を開催することで、「学び・つどい・交流」の場の提供に努めている。 ○各地区において、高齢者学級や家庭教育学級を開催することで、仲間づくりや家庭教育・高齢者教育の推進に努めている。								
対象	市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)	人と人との学びあいやふれあいを深め、それぞれの個性や能力を伸ばしながら、一人ひとりの人生を充実させると共に、地域の文化を高め、活力あるまちづくりと地域社会の形成や発展を目指す。								

Do

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	26年度 実績値	27年度(評価年度)		28年度 目標値	29年度 目標値	31年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	高齢者学級の参加者数	人	1084	2000	839	1200	1200	1200
算式	-							
	家庭教育学級の参加者数	人	1980	2000	890	1200	1200	1200
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H26 決算額	H27 決算額		H28当初 予算額	H29以降の 予算の方向性		重点 細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H26実績値	目標値	実績値	H28目標値	事業の方向性		
1	生涯学習推進会議運営事業			209	85		295	予算	維持	
	指標	会議回数	回	2	2	1	2	事業	維持	
2	高齢者学級事業			319	280		457	予算	維持	
	指標	高齢者学級の開催数	回	68	60	49	60	事業	維持	
3	家庭教育学級事業			214	294		420	予算	維持	○
	指標	開催数	回	59	50	30	50	事業	維持	
4	市民大学講座事業			76	60		60	予算	維持	
	指標	受講者数	人	375	500	573	500	事業	維持	
5	生涯学習フェスティバル事業			54	47		93	予算	不要	
	指標	参加者数	人	450	1000	800	1000	事業	終了	
6	佐渡市連合婦人会支援事業			900	900		900	予算	維持	
	指標	会員数	人	414	420	425	420	事業	維持	
7	女性のつどい支援事業			115	115		115	予算	維持	
	指標	参加者数	人	450	450	400	450	事業	維持	
8	生涯学習意識調査			0	0		711	予算	不要	
	指標	回収率	%	-	-	-	55	事業	終了	
9	その他				139		73	予算	維持	
	指標	-	-		-	-	-	事業	維持	
事業費の合計(千円)				1,887	1,920		3,124			
財源内訳				国庫支出金	0	0	0			
				県支出金	0	0	0			
				地方債	0	0	0			
				その他	510	0	0			
				一般財源	1,377	1,920	3,124			

Check		◆事務事業を構成する細事業の評価◆			A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき
枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	生涯学習推進会議運営事業	法定義務	B	A	次期の生涯学習推進計画を検討する期間であることから、28年度に策定する教育基本計画との整合性を図る必要がある。
2	高齢者学級事業	B	B	A	参加者のニーズに副った企画を立案する必要がある。
3	家庭教育学級事業	B	B	A	子供を育てる環境づくりを整えるため、子育て世代を対象とする家庭教育講座を推進する必要がある。
4	市民大学講座事業	B	A	A	大学や他課との連携によって講座内容を充実していく。
5	生涯学習フェスティバル事業	B	C	B	学習してきた成果を発表する機会としては有効だが、当日の観覧が少ないため、事業を見直す必要がある。
6	佐渡市連合婦人会支援事業	B	B	A	社会教育に関する事業を行っているため、継続した援助が必要である。
7	女性のつどい支援事業	B	B	A	社会教育に関連するイベント開催費用であることから、継続した援助が必要である。
8	生涯学習意識調査	B			生涯学習推進計画見直しに必要なデータを採取するため、28年度中に行うもの。
9	その他				
Action		◆今後の事務事業の方向性◆			
評価(担当課長)		事業の方向性	維持	予算の方向性	維持
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)		公民館運営審議会答申の、いきがいの持てる講座作りを念頭に、市民大学講座や家庭教育・高齢者学級を開催する等、気軽に学び集える場を市が手がけていく必要がある。			